

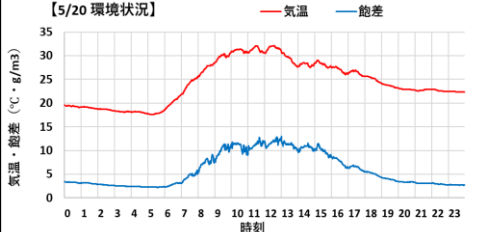
農場通信 2025年 6月号

2025/5/25

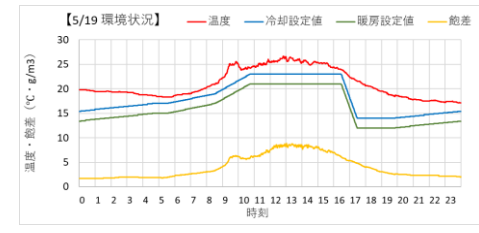
トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容 ③ 開始日 ④ 終了予定 ① 第4 A ② ココバッグ栽培展示 バッグ比較試験 ③ 2024/9/9 ④ 2025/7月末

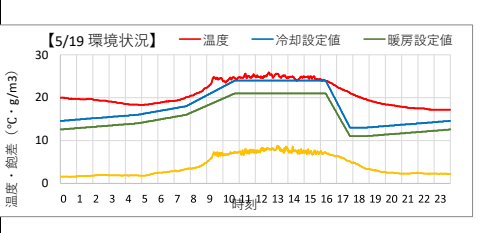
品目		
栽培中 栽培準備中 今月最終	圃場写真①	圃場写真②
直近の環境データ・管理方法(晴天日) ※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています		今月の状況 と 今後の管理

大玉トマト		
【5/20 環境状況】 		ココバッグ栽培の展示ハウスになります。 通常タイプのココバッグと、ココバッグ「ミニ」の比較試験を行います。 品種は桃太郎ホープ(台木:アシスト) 9/9定植。 栽培も終盤に入ってきました。日中は晴天日は遮光を行うので、日射比例灌水だと、灌水量が不足しやすくなります。飽差と、実際の排水タイミングを見ながら微調整が必要な時期です。 収量は昨年比ではやや減収ですが、バッグの種類による大きな差は見られない状況です。6月上旬に摘芯予定です。

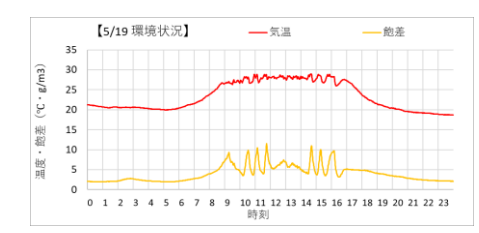
① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験 ③ 2024/7/29 ④ 2025/6月

ミニトマト		
【5/19 環境状況】 		ミニトマト20品種の比較試験を行っています。 日中24℃前後、株あたり2000ml、給液ECは1.6で灌水管理。 5月12日に摘芯を行いました。 うどん粉病やコナジラミに注意しながら、消毒を行っています。

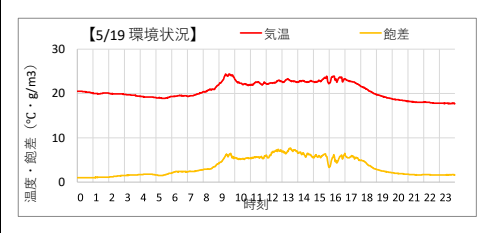
① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験 ③ 2024/7/29 ④ 2025/6月

大玉トマト		
【5/19 環境状況】 		大玉トマト20品種栽培中です。 5月12日に摘芯を行いました。 バコトップ放飼により、コナジラミは少ない状態ですが、TY非耐性品種を中心に一部で黄化葉巻病が発病しています。このまま6月まで収穫を続けていきます。

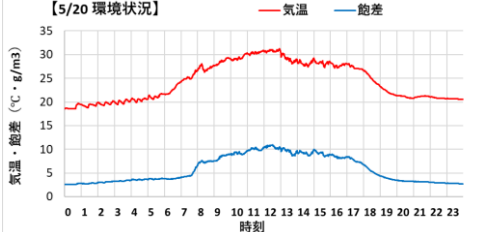
① 第4 D ② アールスメロン品種比較試験 ③ 2024/5月上旬 ④ 2025/8月

アールスメロン		
【5/19 環境状況】 		5月5日に定植を行いました。 番号品種を含めて、18品種を栽培中です。 ECの上げ遅れが起きてしまい、現在、何とか草勢が回復してくれないかと思っています。 6月上旬より、交配を行う予定です。

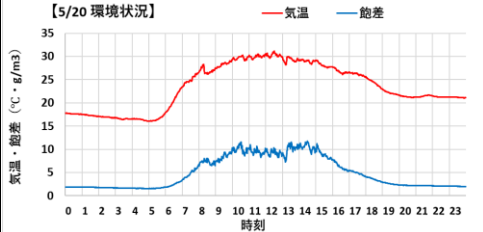
① 第4 E ② イチゴ栽培試験 ③ 2024/7/23 ④ 2025/6月

イチゴ		
【5/19 環境状況】 		株あたり300cc給液、給液EC0.6で管理。 ハウス内が暑くならないように、換気や遮光を実施。 果実が柔らかくなるのが早くなってきたため、色回りを気にしながら収穫を行っています。 葉が茂り始め、ランナーも伸びて来たため葉かきとランナー取りをこまめに行っています。 取り忘れた果実がないように注意して収穫します。 栽培は5月で終了いたします。

① 第4 J ② ココバッグ養液栽培試験 品種比較試験 ③ 2024/10/2 ④ 2025/4月末

キュウリ		
【5/20 環境状況】 		今作はココバッグを使った養液栽培に適する品種比較試験ということで、穂木品種8種類・台木品種4種類を栽培します。年2作型とし、1作目は10月定植、4月15日で終了。2作目を4月21日に定植しました。 5月末現在、子ツルを4本誘引して、定植から1か月からずに収穫が始まっています。キュウリは意外と暑さには強くないので、日中の気温が30℃を大きく超えないような管理をしています。対策として遮熱塗料を屋根に塗布しています。灌水は排水率30%以上となるように不足しないようにしていきます。

① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2024/8/30 ④ 2025/7/1

高糖度ミニトマト		
【5/20 環境状況】 		ミニトマトの高糖度栽培での品種比較試験を行います。 培地はココバッグ、肥料はオリジナルの高糖度用単肥処方を使用します。 5月末現在で給液EC3.0、排水率10%前後で管理しています。品種により糖度を維持しているものと、7度台まで下がってきたものがあります。収量は全体的に多い状態を維持していて、まだ調子が良さそうなので摘芯は少し遅らせてみようと思っています。屋根には遮熱塗料が塗ってありますが、日中ハウス内が30度を越えたら遮光をしています。



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp

① 第6 ② スイートコーン品種比較試験 ③ 2024/8月～ ④ 2024/11月～

スイートコーン		イエロー2作型 バイカラー1作型（詳細は左記のとおり） 一番早く播種した1作目は、5/23現在で出穂が始まっており概ね生育順調です。 今後はアブラムシ・アワノメイガの防除と、追肥、乾燥が続いた場合は灌水も行い、スムーズに生育するように注意していきます。 1作目は6月下旬に収穫予定で、この頃に見学会を予定していますので、ご興味のある方はぜひお越しください。

① 第3 M ② アスパラガス柵板式高畝栽培試験 ③ 2023/6/2 ④ 周年

アスパラガス		

アスパラの「柵板式高畝栽培」の実証試験。
2023年初夏に定植、2024年春から収穫開始。
柵板で隔離したベッドにココバグの中身を入れて養液栽培をします。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類栽培しています。

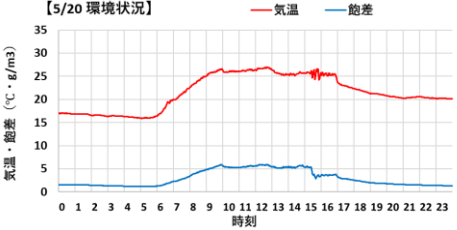
収穫2年目となる今作では、全体的に前年よりも大幅に増収となっていて、春芽収穫後の収量の落ち込みも見られない状況です。ヤシガラ培地で水抜けが良いため、今後は灌水量を増やして掛け流すようなイメージの管理にしていきます。

① 第8 ② 『持続可能な施設園芸』実証試験 ③ 2024/9/2 ④ 2025/7月末

大玉トマト		

【5/20 環境状況】

— 気温 — 飽差



サステナブル・グリーンハウス『持続可能な施設園芸』実証試験と題して、減農薬・肥料削減・脱炭素を目標とした各種取り組みを行います。
減農薬⇒天敵・防虫ネット・捕虫シート等を組み合わせたIPM
肥料削減⇒排液リサイクルシステムを使った栽培実証
脱炭素⇒暖房の排ガスからCO2を分離して再利用

タバコasmカメによるコナジラミ防除は、コナジラミの増加抑制には効果的でしたが、一定数が常に残ってしまうため、黄化葉巻病が多く発生してしまいました。排液リサイクルは培養液組成の大きな崩れも無く終盤まで問題無さそうです。6月初旬に摘芯予定です。

① 第2 ② 露地品目 ③ 2024/09～ ④ 2025/夏

バイカラーコーン、初夏キャベツ、春ブロッコリーの栽培を行っています。

初夏キャベツについては、収穫・調査を行っています。チョウ目害虫・黒すす病を中心とした防除を行いました。効果は定かではありませんが、ナチュレパワーの散布で、虫による食害が少ないように感じています。

① 施設栽培 ② バコトツプ放飼防除試験 ③ 2025/07～

バコトツプ		

研究農場では、2024年度トマト・キュウリ栽培ハウスにて、バコトツプの放飼試験を行っています。
キュウリではアザミウマ類を対象に、トマトではコナジラミ類を対象にしています。

キュウリでは、定植して一か月程となりました。葉が食害を受け、芽先にも食害の影響が出たために、バコトツプの個体数を減らすため、影響のある薬剤を散布しました。

トマトについては、例年のようなコナジラミの大発生もない状態で、経過しております。ただし、バコトツプを放飼しても、コナジラミをゼロにはできないため、注意が必要です。また、農薬の散布回数が減るに伴い、殺菌剤の散布も例年より少ない影響からか、一部のハウスでうどんこ病が発生し、防除を行っています。



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp